



患者本人の気がかりや意向、病気がある場合は病状や予後の理解、さらには患者の価値観や目標、治療や療養に関する意向や選好、その提供体制などが話し合われます。

■ ACPで話し合うこと

あらかじめ意思を聞いておけばよいのではないか?ということになり、ACPという考え方が出できました。

ACPは今後の治療・療養について患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスです。

ACPを日本語にすると、事前ケア計画立案となります。ここでいう「事」とは人生の終末に起る事、またケアとは治療、療養のことです。つまり人生の終末のケアをあらかじめ計画しておくということです。日本では人生会議といふ言葉で紹介されたりもします。

終末期においては約70%の患者が意思決定不可能とされており、より良いエンドオブライフ(人生の終末期)のため、事前に病状の認識を確かめて、あらかじめ意思を聞いておけばよいのではないか?ということになり、ACPという考え方が出できました。

ACPは予後1年の可能性があることを一つの目安として行われるのが適当とされています。当院に入院や通院をしている高齢の患者さんはすべて治療になると思います。あらかじめ話し合いをすることで、もしものときに備える

健康人に対するACPはライフイベントに併せて行うと良いとされており、ACPやAD(アドバンスディレクティブ、蘇生措置計画や緩和医療計画)について知つてもうことが大切とされています。

これに対し病気を持った人に対するACPは予後1年の可能性があることを一つの目安として行われるのが適当とされています。当院に入院や通院をしている高齢の患者さんはすべて治療になると思います。あらかじめ話し合いをすることがあります。

■ ACPをいつ行うか

健康人に対するACPはライフイベントに併せて行うと良いとされており、ACPやAD(アドバンスディレクティブ、蘇生措置計画や緩和医療計画)について知つてもうことが大切とされています。

これに対し病気を持った人に対するACPは予後1年の可能性があることを一つの目安として行われるのが適当とされています。当院に入院や通院をしている高齢の患者さんはすべて治療になると思います。あらかじめ話し合いをすることがあります。

そして話し合われた内容を記録し、また患者が自ら意思決定ができなくなつたときに備えて、患者に成り代わって意思決定を行う信用できる人(代理決定者)を選定することも大切になります。

これらによって患者の意思を実際に受けた医療や療養に反映することが可能となります。



ことができ、安心して残りの人生をより良く送ることができます。

当院通院中の患者・ご家族の方への提案

当院の外来には高知県が作成した「人生会議」してみませんか?というパンフレットがあり、説明とともに最後に項目ごとに質問に答えることができます。私の担当する高齢患者さんとご家族には一通りお渡しし、話し合った内容をカルテに添付しています。実際にその患者さんが入院された時に大変役立っています。ACPの始まりとして一読をお勧めします。

ふれあい看護体験2025

看護部



2025年7月30日にふれあい看護体験を開催しました。

これは、高知県看護協会が主催する、看護や医療に興味のある高校生・社会人を対象に行われる看護体験で、今回は県内の3名の高校生にご参加いただきました。

体験場所は、外来1名、急性期一般病棟1名、地域包括ケア病棟1名です。

看護師の制服を実際に着て、病棟の見学や簡単な看護体験を行いました。

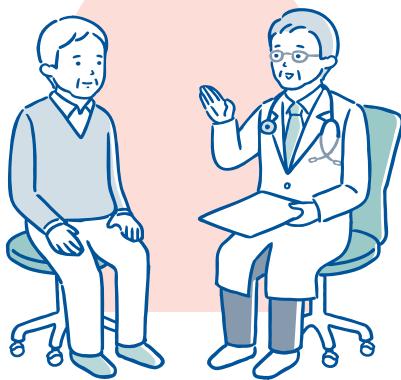
参加者の声を一部紹介します。

- ・ 胃カメラを見れたのが感動でした！実際の病院に入れて裏側もみれて、将来助産師・看護師になりたいという思いが強まりました！
- ・ テレビやドラマで見るよりも、過酷で大変なこともあるんだろうなと実感させられました。患者さんと触れあつたり、注射器を実際に使わせていただいたりと、日常的にできない体験をさ

せてください、ありがとうございました。

・ 知らなかつたことが沢山知れました。病院では当たり前なんだと思っていたことが理由も明確にあって、すごいなと思いました。私にできることを経験させてくださいました。いい経験をありがとうございました。





当院では7月、外部講師をお招きし職員を対象とした接遇研修を開催しました。出来るだけ多くのスタッフが対面受講できるよう、同じ内容で2日開催し、93名のスタッフが対面受講しました。

講演ではまず、言葉のみではなく非言語コミュニケーションが非常に重要であることを学びました。聴覚からの情報受け取り割合が38%に対し、態度や表情、視線、姿勢、身だしなみなど、視覚情報からの受け取り割合が55%となつており、非言語部分によって受け取り手の印象が大きく変わることを知りました。

その他、電話対応の基本心得、専門用語の取り扱い、医療サービスについて、職員間の会話、相手の話を聞く際の「需要」と「共感」、クレーム対応など、日常業務に即した内容を学び、医療における接遇の重要性を再確認した時間となりました。

受講後のスタッフからの感想では「患者のクレーム対応についてまずは相手の話をしつかり聞くこと、的確に理由と原因を見極められるようになりたいと思った」「言葉ではなく表情、態度の方が対面の際比重が高いと分かったので意識していきたい」「電話対応が参考になつた」「患者さんはもちろん、面会者にもこの病棟にきて良かったと思つてもらえる様な対応ができるよう努めをしていきたい」などの言葉が聞かれ、多くの学びを得て、いる事を実感しました。今後も接遇向上に向けて継続して

接遇研修を開催しました

国南病院接遇向上委員会

取り組んでまいりたいと思ひます。

（接遇向上委員会基本方針）

- ・患者さんが快適な療養生活を送ることができるよう、接遇の観点からサポートする



- ・職員にとって働きやすい職場環境をつくるための接遇教育を行なう





緩和ケア病棟が 『質向上の取り組みに関する認証』を受けました

この認証は、日本ホスピス緩和ケア協会が、ホスピス・緩和ケア病棟で行われている「質向上の取り組み」を評価し認定するもので、以下3点の全てに取り組むことが求められています。

③第三者評価への取り組み
日本ホスピス緩和ケア協会が実施するインターネット遺族調査への参加

①施設概要・利用状況調査への取り組み
日本ホスピス緩和ケア協会が毎年実施する調査で、協会ホームページを通じて調査結果を公表、社会からの信頼を得ることにつながる取り組み

当院では、患者さん一人ひとりの尊厳を大切にし、安心して療養いただける環境づくりを目指して、スタッフ一同日々研鑽を重ねてまいりました。今回の認証取得は、そうした取り組みが評価された結果であり、今後もより質の高い緩和ケアの提供に努めてまいります。

②自施設評価共有プロ
グラムへの取り組み
多職種で自施設の評価を行い、話し合いを通じて自らケアを見直し、問題点を見つけて改善していくことをする取り組み



岳田さんちの茶々丸

ちやちやまる
ぼくは茶々丸です。
やんちゃで
わんぱくです。
山川海と色んなところに
行くのが楽しいよ～。
バイクの足元に飛び乗って、
ツーリングも大好きです。
見かけたら是非声をかけてね～。

うちの子
Uchinoko Jiman

声を
かけてね



新任医師のご紹介

2025年8月より

麻酔科常勤医師が着任しました



やまがた さやこ
山形 清子 医師

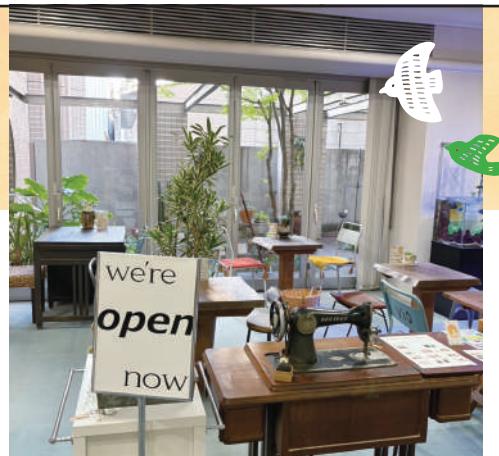
経歴:

平成31年 高知大学医学部卒

専門科目: 麻酔科

資格・認定など: 麻酔科標準医

麻酔科として手術中の全身管理を行ふとともに、緩和ケア診療にも携わっています。患者さんやご家族が安心して治療や療養を続けられるよう、痛みや不安の軽減に努めています。緩和ケアでは、患者様とご家族が安心時間を少しでも穏やかに過ごせるようお手伝いをさせていただきます。身体のことだけではなく、生活や気持ちの変化にも丁寧に向き合い、患者様お一人お一人に合ったケアを考え、実践していくことを大切にしています。多職種と連携しながら温かい医療を届けられるよう努めて参ります。困ったことや不安なことがあれば、どうぞ気軽にお声がけください。



ViO gluten-free sweets&foods

営業時間／10:00-16:00 定休日／月曜・祝日

2025年7月7日、図南病院
東館1階に「ビオ・グルテンフリー
ースイーツ&フーズ」をオープン
いたしました。これまで10年間、
高知市介良にて「ビオ・ナチュ
ラルスイーツ」として、卵と乳
製品を使わないお菓子専門店とし
てお届けしてきました。この度、
多くのご縁で図南病院内に移転さ
せていただき、新たに小麦も全て
不使用とした「グルテンフリーの
おやつ専門店」として再スタート
いたしました。

店内では、お菓子だけでなく
「酵素玄米と野菜だけでつくる
お味噌汁」をメインにした、毎日

食べたいシンプルで優しいごはん
もご用意しています。定休日は
月曜と祝日、営業時間は10時から
16時までです。

アレルギーのある方だけでな
く、小さなお子さまからご高齢の方まで、どなたにも安心して召し
上がっていただき、「毎日食べた
いおやつ」をテーマに、一つ一つ
心を込めて手作りしています。
病院という特別な場所での新しい
挑戦を通じ、食を介して少しでも、
皆さんに癒しをお届けできれば幸いです。どうぞよろしくお願
いいたします。

店主

安岡まゆみ



(R7年1月～)

内科

	月	火	水	木	金	土
午前	吉岡 沖	上田	小笠原	上田	越智	沖 (第1,3週)
午後	上田	沖	吉岡	沖 水田	吉岡	

整形外科

	月	火	水	木	金	土
午前	藤田	溝渕	吉本	吉本		
午後	吉本	藤田		(手術)	藤田	

外科

	月	火	水	木	金	土
午前	高野	久(晃)	久(晃)	小河	高野	担当医
午後	担当医 (高野or久(晃))	小河	高野	久(晃)	小河	

創傷ケアセンター

	月	火	水	木	金	土
午前						
午後		津野(巻爪)		久(晃) 津野		

泌尿器科

	月	火	水	木	金	土
午前						
午後	小林					

※外科 久明史医師は、令和6年12月1日より関連施設の久病院へ異動となりました。

◆内科・整形外科・創傷ケア・緩和ケア内科・ペインクリニック・泌尿器科は予約制です。
電話予約もお受け致します。

◆ご予約に関するお電話での受付時間は、午前は8:30～12:00、午後は1:30～5:00となります。(12:30～1:30は予約の変更等の受付はできません)

◆初診の方は、問診や検査等に時間を要しますので、午前は11:00まで、午後は3:00までにご来院くださいますようお願い致します。

◆水曜日の外科外来は、手術のため変更になる場合があります。

◆土曜日の担当医は、毎週変わります。詳しくはホームページの土曜日診療日程表をご確認ください。



◆ホームページ
(外来診療日程)
はコチラから

診察時間

	午前	午後
平日	8時30分～12時	1時30分～4時30分
土曜	8時30分～12時	休診
日曜 祭日	休診	但し、急患は随時受付けます。

緩和ケア

がん患者さんの、心と体の苦痛を緩和するための治療に取り組んでいます。緩和ケア外来、訪問診療、緩和ケア病棟、訪問看護ステーションにて支援いたします。まずはお電話にてご相談ください。

各種健診

自治体の各種健診を実施しています。特定健診、高知市大腸がん検診および大腸精密検査、市町村胃内視鏡検診、高知市肝炎ウイルス検査、高知県風しん抗体検査をお受けしています。

創傷ケアセンター

糖尿病性足潰瘍、血行障害や骨の変形が原因で起こる潰瘍など、慢性創傷に対して専門的訓練を受けた医師が治療を行います。予約制での診療となっております。



人間ドック

当院では、日帰り人間ドックとして、がんドック、脳ドック、その他オーダーメイドコースをご用意しています。皆様の健康管理にぜひご利用ください。



発行

特定医療法人久会 図南病院

〒781-0806 高知市知寄町1丁目5-15
TEL 088-882-3126

編集 図南病院新聞部 編集長 高野 篤

